

第4回 UNWTO/UNESCO 観光と文化をテーマとした国際会議
2019京都会議実行委員会 設置要綱

(名称・目的)

第1条 第4回 UNWTO/UNESCO 観光と文化をテーマとした国際会議 2019京都会議(以下「会議」という。)を開催するにあたり、関係機関の協力体制の下に、会議開催の準備・運営について協議し、業務の円滑な処理をはかるため、京都会議実行委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(業務)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 会議に係る事業計画の策定
- (2) 会議に係る事業推進及び運営
- (3) 関係機関等が実施する事業との連携・協力
- (4) 会議開催にあたり必要となる予算の確保
- (5) 委員会で決定した事項について、国連世界観光機関(UNWTO)への提出
- (6) その他、会議開催に当たり必要な業務

(構成)

第3条 委員会は別表1に掲げる者で構成する。

(委員長等)

第4条 委員会には次の役員を置く。

- (1) 委員長
 - (2) 委員
- 2 委員長は委員の互選により定める。
- 3 委員会の諸事務を行うため、別に専門部会、推進部会、事務局を置くこととする。

(職務)

第5条 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。

- 2 委員長は必要に応じ、委員を招集する。
- 3 委員長が不在のとき又は委員長に事故のあるときは、委員の互選により、委員長代理を選定し、その職務を代行する。

(会議の成立と議事の決定)

第6条 委員会を開くには委員の過半数の出席(委任状提出者含む)があることを要する。議事の決定は出席委員の過半数の賛成を要する。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは委員長がこれを決する。
- 3 委員がやむを得ない理由により会議を欠席する場合、委員長は、当該委員の申し出により代理出席を認めることができる。
- 4 委員会を開催するいとまのない場合には、委員長は、書面による表決により、委員会の議決に代えることができる。

(専門部会の設置)

第7条 専門部会は、別表2に掲げる者で構成する。

2 専門部会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 会議の会議全体テーマに関すること。
- (2) 分科会の会議テーマに関すること。
- (3) 京都宣言に関すること。
- (4) 前3項に掲げるもののほか、委員長が必要と認める事項に関すること。

3 専門部に必要な事項は、委員長が別に定める。

(推進部会の設置)

第8条 推進部会は、別表3に掲げる機関をもって構成する。

2 推進部会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 事業計画の原案策定及び事業の企画立案に関すること。
- (2) 委員会及び専門部会の運営全般に関すること。
- (3) 前2項に掲げるもののほか、委員長が必要と認める事項に関すること。

3 推進部に必要な事項は、委員長が別に定める。

(事務局の設置)

第9条 委員会の諸事務を行うため、事務局をおく。

2 事務局には、事務局長および事務局員を置く。

3 事務局運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

(解散)

第10条 委員会は、会議に係わる事務の終了を持って解散する。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、その他必要な事項は、委員長が別に定める。

(附則)

本要綱は、決定の日から施行する。

(別表1)

(敬称略 氏名50音順)

所属	氏名
株式会社小西美術工藝社 代表取締役社長	アトキンソン デービッド マーク
京都市長	門川 大作
観光庁審議官	高科 淳
京都商工会議所会頭	立石 義雄
文化庁長官官房審議官	内藤 敏也
京都府知事	西脇 隆俊
国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所 代表	本保 芳明
第8代ユネスコ事務局長 株式会社パソナグループ顧問	松浦 晃一郎
公益財団法人京都文化交流コンベンション ビューロー理事長	村田 純一
国土交通省近畿運輸局局長	八木 一夫

(別表2)

(敬称略 氏名50音順)

氏名	役職等
河島 伸子	同志社大学経済学部・経済研究科 教授
本保 芳明	国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所 代表
宗田 好史	京都府立大学副学長
門司 健次郎	公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団 評議員
矢ヶ崎 紀子	東洋大学国際観光学部 教授

(別表 3)

(機関名 50 音順)

機関名
観光庁参事官室
京都市産業観光局観光M I C E 推進室
京都市文化市民局文化芸術都市推進室
京都商工会議所産業振興部
京都府商工労働観光部
京都府文化スポーツ部
公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー
国土交通省近畿運輸局観光部
国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所
日本政府観光局 (JNTO)
文化庁地域文化創生本部

UNWTO／UNESCO
観光と文化をテーマとした国際会議
について

1. UNWTO/UNESCO 観光と文化をテーマとした国際会議について

- 本会議は、観光と文化の大臣をはじめとする各国の関係者が集結して、貧困を緩和し、雇用を創出し、自然と文化遺産を保護するために観光と文化の力をいかに活用するかを議論する唯一の場。
- これまで2回開催されており、第1回のシエムリアップでは「新たなパートナーシップ」、第2回のマスカットでは「持続可能な開発の促進」をテーマに議論がなされた。
- 本年12月に第3回会議がイスタンブールで開催され、「全ての関係者への恩恵」をテーマに議論がなされる予定。

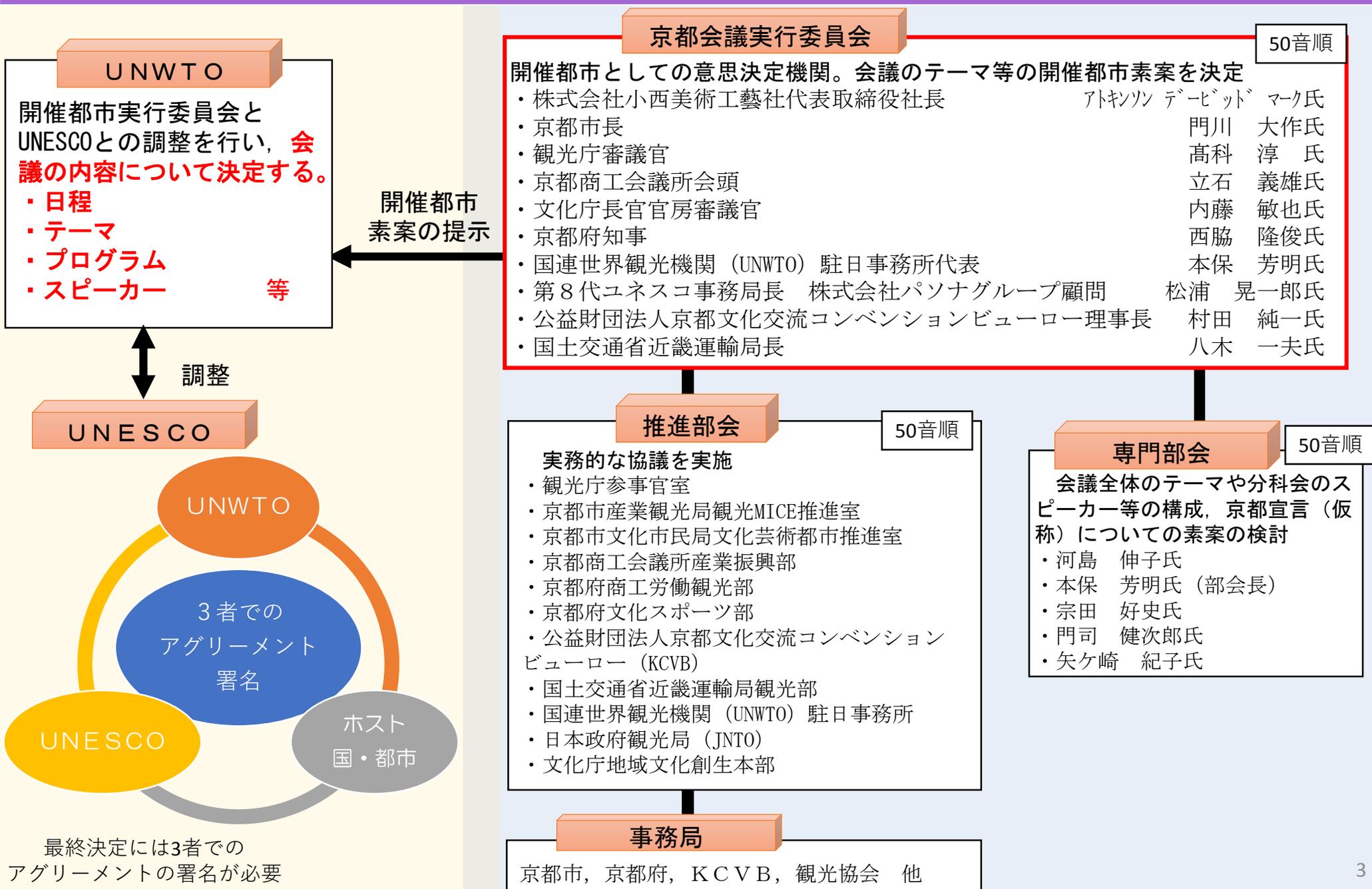
【会議概要】

- (1) 規模：1,000名程度（100箇国）
- (2) 参加者：観光・文化大臣，各国政府関係者，国際機関関係者，民間事業者等
- (3) 主催：国連世界観光機関（UNWTO），国連教育科学文化機関（UNESCO）
- (4) 構成：大臣会合，基調講演，分科会，宣言の採択，関連イベント等から構成
- (5) 開催年及び都市：
2015年 第1回会議 シエムリアップ
2017年 第2回会議 マスカット
2018年 第3回会議 イスタンブール
2019年 第4回会議 京都

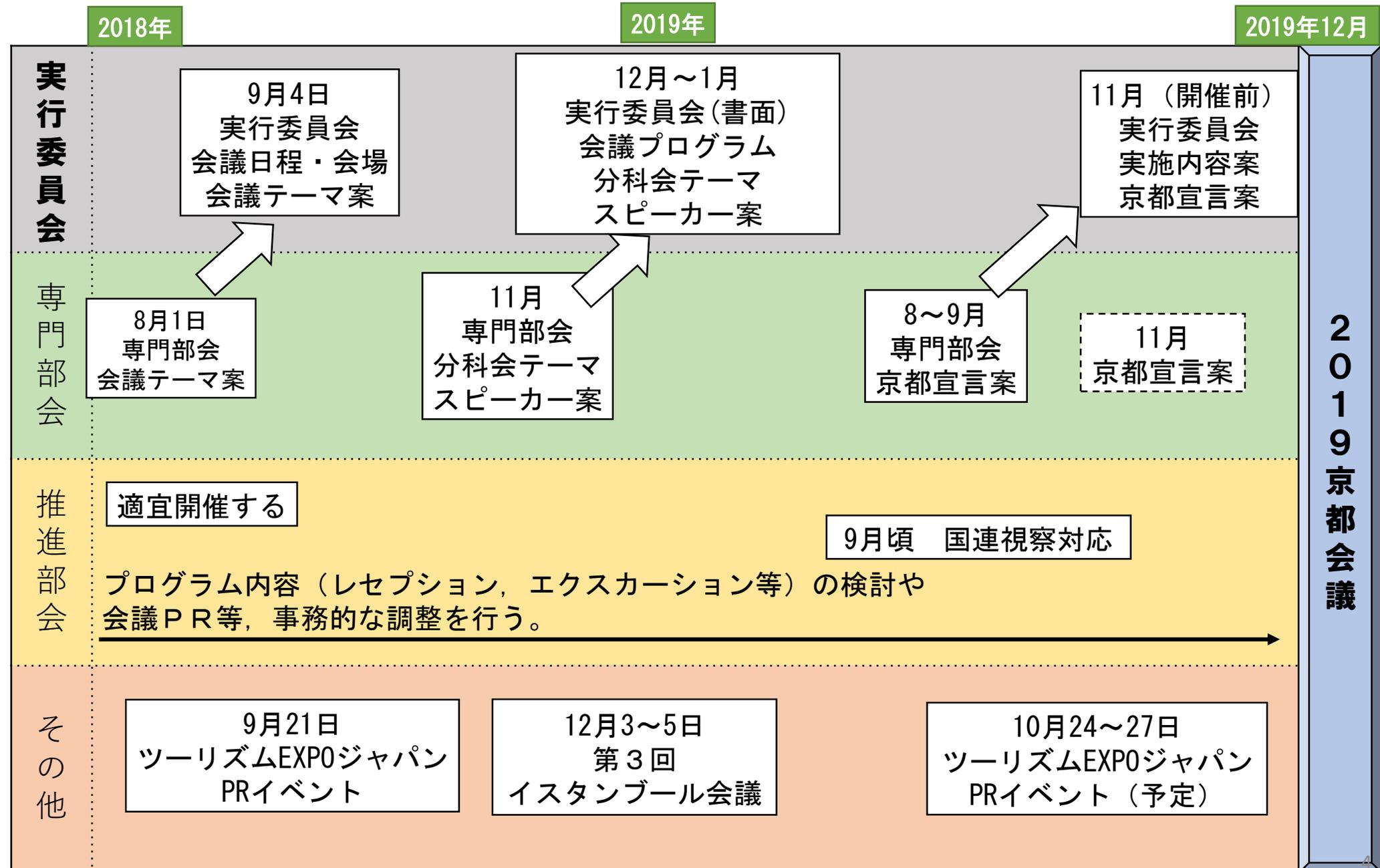
【第2回会議の様子】



2. 2019京都会議の進め方（準備体制）



2. 2019京都会議の進め方（スケジュールイメージ）



3. 本日の実行委員会での確認事項

- ① 2019京都会議の日程案
- ② 2019京都会議の会場案
- ③ 2019京都会議のテーマ案

上記3点を確認し、京都会議実行委員会の案として、UNWTOに提出する。

会議日程, 会議会場 会議テーマについて

2019京都会議の日程案及び会場案

① 日程案

過去の会議の開催日程や京都で開催される大規模国際会議の開催日程，そして繁忙期と重ならず，かつ，世界の関係者が参加しやすい時期を考慮し，以下の日程案を設定。

(参考1) 第2回開催日 12月10日～12日 第3回開催日 12月3日～5日

(参考2) 2019年9月 国際博物館会議 (ICOM) 2020年4月 第14回国際連合犯罪防止刑事司法会議

日程	12月11日 (水) 【前日】	12月12日 (木) 【1日目】	12月13日 (金) 【2日目】
会議構成案	<ul style="list-style-type: none"> ・ エクスカーション ・ レセプション (VIP対象) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ OPセレモニー ・ 大臣会合 (基調講演含む) ・ 分科会1 ・ レセプション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分科会2 ・ 分科会3 ・ 分科会まとめ ・ 記者会見・京都宣言発表

※ その他，サイドイベントの実施について検討中

② 会場案

開催実績を踏まえ，国立京都国際会館を予定



国際会館メインホール



国際会館正面玄関

【国際会館での主な開催実績】

- ・ 地球温暖化防止京都会議 (COP3)
- ・ 第4回国連軍縮京都会議
- ・ 第3回世界水フォーラム
- ・ 第1回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム
- ・ 第40回アジア開発銀行年次総会
- ・ 第17回APEC財務大臣会合
- ・ 世界遺産条約採択40周年記念最終会合
- ・ 京都国際地理学会議
- ・ 国際外科学会世界総会
- ・ 第14回国際連合犯罪防止刑事司法会議 (予定)

2019京都会議で議論すべき内容

1 過去の会議との継続性や途上国も共感を得られることができるという観点から、SDGsの達成につながるような全体テーマを設定すべき。

2 京都は、様々な困難に見舞われながらも1200年を超えて続く文化芸術都市として、文化を継承し続けてきた。近年に独立した途上国などが参考にできるアイデアを提供できる。

3 文化を大事にしてきたからこそ、その魅力が観光客を惹きつけてきた。他方、観光の人的な交流が、文化の多様性が養い、進化してきたのも事実であり、文化と観光の相互作用の原理を理解することが重要である。

4 文化的な都市には、観光客が集まり、文化にインスパイアされるといった、文化が本来持っているクリエイティブの視点も重要である。その結果として、企業立地や高度な担い手(技術者・芸術家等)など、経済・文化・学術にも好影響を与えている事例がある。

SDGsの達成に向け、各地域における文化継承が観光や経済、産業に寄与してきたという成功事例を議論すべき。

SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連において、気候変動、自然災害、生物多様性、紛争、格差の是正などの国内外の課題の解決に向けて掲げられた、国際目標(17の目標と169のターゲット)のこと。
2030年までの目標達成に向けて、世界の全ての国・地域の政府だけでなく、更には地方自治体や民間企業等もその達成に向けて取り組むこととされている。
※SDGs=「Sustainable Development Goals」

5 「生活文化」は生活の営みから生まれてきたものであり、住民生活と観光との調和の観点は非常に重要である。観光事業者の意識の向上を図るなど、観光に倫理的な視点を取り込むことも必要である。

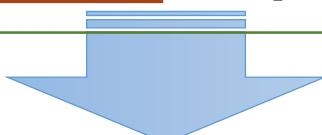
6 観光は文化の質の向上に寄与しなければならない。この実現に向け、観光と文化の行動規範(パートナーシップ)を構築すべき。

持続可能な文化観光の実現に向け、「住民生活と観光との調和」という課題を議論すべき。

7 教育や職人の育成を含めた担い手育成についても議論し、「人々」や「技術」が新たな文化的要素を生み出すとともに、文化観光こそ平和のための教育・学びであると訴求できると良い。

8 2019年9月のICOM(国際博物館会議)京都大会との繋がりも意識すべきである。

将来世代への文化継承に向け、文化観光を担う人々への教育・学びのあり方や文化機能の役割について議論すべき。



2019京都会議テーマ案

「文化の継承と持続可能な社会に向けた観光の果たす役割」

(参考1)過去の会議概要 (会議規模, テーマ等比較)

	第1回シムリアップ ^o	第2回マスカット	第3回イスタンブール	第4回京都(案)
日時	2015年2月3日～5日	2017年12月10日～12日	2018年12月3日～5日	2019年12月11日～13日
規模	約900人 100箇国	約800人 70箇国		約800人
会議 テーマ	Building a New Partnership 新たなパートナーシップの構築	Fostering Sustainable Development 持続可能な開発の促進	Benefits for All すべての関係者への恩恵	
前日	エクスカージョン	エクスカージョン	—	エクスカージョン
	—	—	—	VIP対象レセプション
初日	オープニングセレモニー	オープニングセレモニー	オープニングセレモニー	オープニングセレモニー
	基調講演	大臣会合 (基調講演含む)	大臣会合 (基調講演含む)	大臣会合 (基調講演含む)
	記者会見	Tourism Culture and Sustainable Development 文化観光 と持続可能な開発	Strengthening collaboration between tourism and culture stakeholders 観光 と 文化 のステイクホルダー間の協力を強化する	
	大臣会合	特別対談	観光 と 文化 のステイクホルダー間の協力を強化する	分科会 1
	Building New Partnership Models 新パートナーシップモデルの構築	Cultural Tourism as a Factor of Peace and Prosperity 平和と繁栄の要因としての 文化観光	分科会 1 Creative cities supporting cultural tourism 文化観光 を支援する創造都市	
	レセプション	レセプション	記者会見	レセプション
	—	—	レセプション	—
2日目	分科会 1 Promoting and safeguarding culture 文化 の保護と活用促進	分科会 1 Tourism development and protection of cultural heritage 文化遺産の観光 開発と保全	分科会 2 Responsible tourism as an ally for safeguarding Intangible Cultural Heritage 無形 文化 遺産を守る加盟国としての責任ある 観光	分科会 1
	分科会 2 Living cultures and creative industries 生活 文化 と創造産業	分科会 2 Culture and tourism in urban development and creativity 都市の開発・創造における 文化 と 観光	分科会 3 Ensuring cultural tourism for all through digital transformation デジタルトランスフォーメーションによる 文化観光 の確保	分科会 2
	分科会 3 Linking people along cultural tourism routes 文化観光 ルートに沿って人々をつなぐ	分科会 3 Exploring cultural landscape in tourism 観光 における 文化 的景観の探求	イスタンブール宣言	分科会 3
	分科会 4 Urban regeneration through cultural tourism 文化観光 による都市再生	分科会まとめ マスカット宣言	テクニカルビジット	分科会まとめ 京都宣言
	分科会まとめ シムリアップ宣言	記者会見	—	記者会見
	レセプション			
	※別途ファミリープログラム有			
3日目	テクニカルビジット	—	テクニカルビジット	—

(参考2) 過去の会議概要 (宣言内容 ※大項目のみ記載)

○第1回テーマ Building a New Partnership 新たなパートナーシップの構築

○第2回テーマ Fostering Sustainable Development 持続可能な開発の促進

	第1回 シェムリアップ宣言	第2回 マスカット宣言
大項目1	Build new partnership models between tourism and culture by...	Strengthen the synergies between tourism and culture and advance the contribution of cultural tourism to the 2030 Agenda on Sustainable Development and the 17 SDGs by...
	観光と文化の新しいパートナーシップモデルの構築	観光と文化の相乗効果を強め、文化観光の「持続可能な開発と17の持続可能な開発目標」についての2030年アジェンダへの貢献を促進させる
大項目2	Promote and protect cultural heritage by...	Enhance the role of tourism and culture in peace building and heritage protection, especially in conflict affected areas by...
	文化遺産の保護と促進	特に紛争の影響下にあった地域における、平和構築と遺跡保護のための観光と文化の役割の充実を行う
大項目3	Link people and foster sustainable development through cultural routes by...	Promote responsible and sustainable tourism management of cultural heritage by...
	文化の道を通して、人々をつなぎ、持続可能な開発を促進させる	責務あるしっかりとした持続可能な文化史跡の観光マネジメントを促進する
大項目4	Promote closer linkages between tourism, living cultures and creative industries by...	Encourage a creative and innovative approach for sustainable urban development through cultural tourism by...
	観光、生活文化と創造産業間の緊密な連携を促進する	文化観光を通して、持続可能な都市開発を目指した独創的かつ斬新なアプローチを促進する
大項目5	Support the contribution of cultural tourism to urban development	Explore the inter-linkages between culture and nature in sustainable tourism by...
	都市開発に対する文化観光の貢献をサポートする	持続可能な観光における文化と自然のつながりを探求する

2019年
京都にて
開催予定

UNWTO / UNESCO

観光と文化を

テーマとした国際会議

UNWTO/UNESCO World Conference on Tourism and Culture

プレシンポジウム

日時

2018年9月21日(金) 17時00分～18時15分

会場

東京ビッグサイト会議棟
607・608会議室

事前
申込制

URL <http://bit.ly/unwtounescopre>

「文化」をどのように「観光」に活用するのか、「文化」の質の低下につながらない「観光」とは、住民生活と調和した「観光」の在り方とは。「観光」と「文化」のキーパーソンが、未来に繋がる気付きを提供します。

● コーディネーター

● パネリスト



国連世界観光機関 (UNWTO)
駐日事務所代表

本保 芳明



UNWTO事務局長

スラブ・
ポロリカシュヴィリ
(調整中)



京都市長

門川 大作



観光庁審議官

高科 淳



文化庁長官官房審議官

内藤 敏也



株式会社小西美術工芸社
代表取締役社長

アキンソン・
デービッド・マーク

ホームページ

<http://www.t-expo.jp/biz/program/kyoto-symposium.html>

主催

京都市、国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

事務局

公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー

入場
無料

UNWTO/UNESCO 観光と文化をテーマとした国際会議とは・・・

世界から、観光と文化の大臣をはじめとする各国の関係者が集結し、貧困を緩和し、雇用を創出し、自然と文化遺産を保護するために観光と文化の力をいかに活用するかを議論する会議